

Doc. No.: NR060622

2006年6月22日

ソフトウェア開発管理システムの独自開発に成功 ～長年培ったソフトウェア開発技術の新たなビジネス展開を目指す～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のソフトウェア・テナインカンパニー(社長：奥本 清文)はこのほど、ソフトウェア開発における品質向上と開発期間の短縮を実現する開発管理ソフトウェア「Qualityflow[※]」の独自開発に成功しました。

近年、国内のソフトウェアの開発現場では、ビジネス形態の変化に伴う新技術に対応するため、高品質のソフトウェアを迅速に提供することが使命となっています。そのためソフトウェア開発企業では、テスト技術者をはじめとする人材の育成、環境整備が急務になっており、同時に、開発プロセス全体を管理できるシステムが求められています。

当社では、ソフトウェア開発を取り巻くこのような動向にいち早く対応し、社内向けとして開発した独自の開発管理ソフトウェアを段階的に導入。「Qualityflow」は、この実績を基に、多彩な業種の開発環境に対応できる柔軟性を持たせたもので、顧客の要求項目との整合、合理的なテスト方法の策定、ソフトウェア評価時の障害情報を管理者に迅速に伝えるなど、開発プロジェクト全体を包括して管理することにより、計画的で一貫したソフトウェア開発と品質管理を可能にします。また、細分化され並行して進む開発プロジェクトにおいて、各種の履歴情報などの全体情報を開発技術者一人一人が共有できるため、品質の向上だけでなく、作業の体系化・効率化による開発期間の短縮を可能にし、開発コストの大幅な削減を実現できるシステムとなっています。

今後は、2006年度内の商品化に向けて技術検証・評価、市場調査をさらに進め、国内のソフトウェア開発会社や企業のソフトウェア開発部門への導入を目指した販売活動を展開します。また、関連ソフトウェアも順次追加し、充実したラインアップにより、さまざまなニーズに応える予定です。当社は、今回の「Qualityflow」の発表を機に、管理ソフトウェア市場への新規参入を図るとともに、ソフトウェア分野における外部販売への事業展開を推進します。

※「Qualityflow」は仮称です。今後、名称が変更されることがあります。

*「Qualityflow」は、2006年6月28日から30日まで東京ビッグサイトで開催される「第15回 ソフトウェア開発環境展」に参考出品し、デモンストレーションを行います。

■ ソフトウェア・テナインカンパニー

大日本スクリーン製造株式会社の社内カンパニーの一つ。当社の各事業カンパニーやグループ会社からの受託開発をはじめ、調査・企画から開発、顧客対応まで、ソフトウェア開発に関するあらゆる業務を担う。100%の完成度と顧客満足を追求したソフトウェアを開発したいという思いから、「テナイン」(99.99999999%の純度を表す言葉)と名付けられた。

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目